



## 2018年第6問

- 6 | 複素数  $\alpha$  に対して、複素数平面上の 3 点 O(0)、  $A(\alpha)$ 、  $B(\alpha^2)$  を考える、次の条件 (i)、 (ii)、 (iii) をす べて満たす複素数  $\alpha$  全体の集合を S とする.
  - (i)  $\alpha$  は実数でも純虚数でもない.
  - (ii)  $|\alpha| > 1$   $\sigma$   $\alpha$   $\alpha$
  - (iii) 三角形 OAB は直角三角形である.

このとき,以下の問いに答えよ.

- (1)  $\alpha$  が S に属するとき、 $\angle OAB = \frac{\pi}{2}$  であることを示せ.
- (2) 集合 S を複素数平面に図示せよ.
- (3) x, y を  $\alpha^2 = x + yi$  を満たす実数とする.  $\alpha$  が S を動くとき, xy 平面上の点 (x, y) の軌跡を求め, 図 示せよ.